

NEW

アストロ・インフォメーション



☆☆

イプシロンロケット打ち上げ

☆☆

撮影：奈須 栄一（大分県大分市）

撮影日時 2018年01月18日



大分天文協会

Astronomical Society of Oita

March 3 2018

日	月	火	水	木	金	土
				1 月とレグルスの接近	2 ●	3
4	5	6 水星と金星の接近(1°)	7 ① 月と木星の接近	8	9 ●	10 月と火星の接近
11 月と土星の接近 15:37月が最南	12	13	14	15	16 水星(-0.2等)が東方最大離角	17 ● ②③
18 水星と金星の接近(3°)	19 月と金星と水星の接近	20	21 春分の日	22	23 月とアルデバランの接近	24 ④
25 ● 11:08月が最南	26	27	28	29	30	31 ●

- ①3月07日 (水) 例会 コンパル団活
- ②3月17日 (土) 月例観測会(月齢29) 香りの森駐車場
- ③3月17日 (土) 「久住高原星空の巡り」くじゅう花公園にて
- ④3月24日 (土) TNMLDV天文台(古長さんの)落成式予定

April 4 2018

日	月	火	水	木	金	土
1	2 火星と土星の接近	3 月と木星の接近	4 例会	5	6	7 マケマケが衝(17.0等) 23:35月が最南
8 ● 月と火星と冥王星の接近	9	10	11	12	13	14 月と水星の接近
15	16 ●	17	18 月と金星の接近	19	20	21 16:39月が最北
22	23 ● 4月こと座流星群 極大	24	25 月とレグルスの接近	26 ハウメアが衝(17.3等)	27	28
29 昭和の日	30 ● 振替休日 水星(0.5等)が西方最大離角					

2018.03.07大分天文協会3月例会



03月例会開催されました

日時:03月07日(第一水曜日) 19時より
 場所:コンパルホール地下1階団体活動室
 参加者(13名)順不同です:
 津田・瀧・吉野夫婦・村上・奈須・藤吉・
 足立・丸野・名倉・梶原・山本夫婦
 【主な内容】

①01・02月の活動報告

- 【01月】
- 1月01日 (月) 初日の出(太陽に感謝) 日本各地
 - 1月10日 (水) 例会 コンパル団活
 - 1月20日 (土) 月例観測会(月齢3) 香りの森駐車場
 - 1月21日 (日) 「青少年のための科学の祭典大分大会2017」開催されました
 9:45~ 場所:大在公民館
 参加(5人):富成・丸野・太田親子・山本
 - 1月27日 (土) 「大分に科学館を! 連絡協議会」設立総会開催されました。
 14時~ 会場:大分高専(アカデミックホール)
 天文協会にとっても大事な会合です、大分天文協会から13名も参加いただき盛会でした。
 - 1月31日 (水) 皆既月食 平日に付き各自観測
 大分は曇りましたが、隙間から観測できた方もいました。

【02月】

- 2月07日 (水) 例会 コンパル団活
 ...10名参加、お疲れ様でした
- 2月09日 (金) 「星空美しく見るために」開催されました
 南大分小学校学習会143名
 担当:山本F
- 2月10日 (土) のつはる少年自然家「星空散歩」開催されました。
 担当:山本F
- 2月17日 (土) 月例観測会(月齢1) 香りの森駐車場

②03月以降の活動計画打ち合わせ。

以下の予定です、詳しくは後日連絡いたします。

- 【03月】
- 3月07日 (水) 例会 コンパル団活
 - 3月17日 (土) 月例観測会(月齢29) 香りの森駐車場
 - 3月17日 (土) 「久住高原星空の巡り」くじゅう花公園にて
 - 3月24日 (土) TNMLDV天文台(古長さんの)落成式予定



梶原さんの素晴らしい天体写真を囲んで!

③会報などの紹介



今月も多くの団体から立派な活動の会誌などを頂きましたのでみんなで楽しく閲覧させていただきました。

- ・星☆盗 第130号 2018年2月 福岡星の会
- ・星屑 NO. 516 熊本県天文台
- ・NSA速報 NO.235 長崎県天文協会

④「機材・お宝紹介」コーナー



★ELシートフラット画像取得装置(吉野工房製)
 会員の吉野さん作です、EL発光シートを額縁に入れて、インバーターを取り付けてくれます。
 AC100V→DC12Vに変換して使えるようになっています。



★大型レンズ用フィルターボックス(シールドサイエンス製)
 川端副会長の会社(シールドサイエンス)製で3Dプリンターで作ってくれました。
 今回はTAMRON SP15-30mm用に使ってもらいました。
 このレンズ、星像がシャープで小さく(それ自体は良いのですが)反面、星像が小さいので星座などが目立ちません。
 こういった場合、ケンコーのプロソフトンフィルターなどのにじみフィルターを使って明るいう星を大きくにじませるのですがこのレンズ、超広角の出目金レンズで、前面にねじ込みフィルターを取り付けられませんので、メーカー製(高い!)と同じく前面のフード前にアクリルフィルター取付の枠を作ってもらいました。
 3/7にアクリル板が手に入ったので、ラッカー吹き付けて今後テストですが天気が悪そうだな...
 テストすんだら報告しますね!

⑤ 観測画像紹介: 梶原さん



日田市から、梶原さんが雨の中遠路参加してくれました！・感謝お土産は・・・素晴らしい、天体写真！！
梶原さんの円熟の撮影技術で撮られた星雲などの画像はとても丁寧で繊細で美しく驚きです。
丁寧に解説していただき、皆でため息つきながら鑑賞いたしました！！！！
ps、福岡 星の会さんの「アメリカ日食観測報告会」に梶原さんは出席されていて、そのお話も聞けました！

◎今月のオークションコーナー



天文古書（天文ガイド）が名倉さんから村上さんに贈呈されました！
懐かしのバックナンバーですね！！！！

◎南限ギリギリ天体観測 & 天文気象講座

★津田気象部長から毎日発行される「大分県星屋さん天気予想」は3/7時点で386号となりました、本当にいつもありがとうございます。



★南限天体のガクルックスを奈須さんが観測成功しました、おめでとうございます！！

奈須さん写真、西日本新聞掲載



⑦オリジナル天体写真フォトブック紹介: 藤吉さん



藤吉さんが、以前自分で作られた星雲星団のフォトブックを紹介してくれました！
自分の写真が本になるのはとても楽しいですね！
福岡星の会さんの立派な会誌を見て、大分でも会誌や写真集をまた作りたくなりましたね！！

◎西日本新聞に写真掲載: 奈須さん



奈須さん撮影のイプシロンロケットのロケット雲の観測写真が、梶原さんの紹介で西日本新聞に掲載されました。
その新聞を梶原さんから奈須さんに贈呈されました。
奈須さん、おめでとうございます！



「南大分小学校 星空の学習」

2018.02.09(木)10:40～12:00 大分県環境教育アドバイザー制度を活用しての「南大分小学校 星空の学習」が開催されました。
南大分小学校の4年生143名が参加して、「星空を美しく見るために」と言う副題で学習会が開催されました。事務局山本F(夫婦)が担当いたしました。

①挨拶

自己紹介をして、今日の学習の概要を以下のように話しました。

- ・冬の星座（主にオリオン座）についてのお話
- ・宇宙の大きさについてのお話
- ・星空と環境について

②資料説明

南大分小学校用に作製しました。

- ・02月の星図
- ・この時期に見える星座とその神話
- ・オリオンの見かけの動き
- ・オリオン座の紹介
- ・月の満ち欠けと名前
- ・クレーターや海の紹介
- ・地球と月の大きさなどの紹介

③スーパームーン・月と地球

1/31の皆既月食&スーパームーンを見ましたか？なぜスーパームーンになったのかを月の軌道に太陽や地球の引力が影響する事を絡めてお話しました。

また、月と地球を縮尺模型で説明して38万^{km}を光の速度でどのくらいかかるか？などを理解してもらいました。

次に、肉眼で見える月の大きさを5円玉を使って全員で体感してもらいました。思ったより小さくしか見えてない月の大きさにみんな驚いていたようです。

④オリオン座のお話

オリオン座紹介、星座絵の説明

ベテルギウスとリゲルの写真を比較し、その色の違い、温度の違いを説明しました。また、オリオン座の各星の距離を示し、その距離がばらばらである事から、オリオン座の形に見えるのは、地球から見た時だけであることを、オリオン座3D模型で説明しました。明るく見える星が必ずしも近くにあるとは限らない・遠くにあるので暗く見えるけど実は凄く明るい星も有ることをお話しました。

また、ベテルギウスが近いうちに超新星爆発するかもしれないという お話や、超新星爆発や更に大きな爆発で重い元素が出来て、それらを元に地球などが作られ、生命の大事な元になってる事などもお話しました！

⑤オリオンの動きの動画

出来るだけ子どもたちが見知っている場所での星座を撮影紹介すると親近感もわくし、興味を持つ切っ掛けにもなると思うので、可能な限りその学校に行って撮影します。

1月に撮影したオリオン座の動きのタイムラプス動画を上映し、オリオン座の動きを見てもらいました。初日は透明度良かったのですが30分余りで曇ったので、翌日再撮影に行きましたが、この日はPMがひどく星の写りはとても悪かったです。その両方の写りから、空の透明度＝PM2.5がいかに影響が多きかもわかってもらえたようです。

また、大分県の郡部の山中の小学校で同様に撮影した、動画も紹介し、光害の影響も説明しました。

⑥星空動画紹介

オリオンの動きの動画に引き続き、香りの森で撮影したタイムラプス動画などを数本上映して、星々の動きや私達星屋さんたちの観測風景や、観測した銀河などを多数紹介させていただきました。

④惑星の大きさと距離の比較

この実験(?)は何年も前から学習会のときなどによく行います。宇宙の大きさを縮小モデルで体感してもらうのが目的です。銀河系などでは大きすぎるので、太陽系で行ないます。

地球を7ミリと縮小したとして太陽や各惑星を縮小した模型を作り、それらを会場の壁に貼った太陽からそれぞれの距離を紹介します。

一番近い水星までは約31m。このくらいでしたら体育館の端で何とか入りますから水星の模型を持った児童を連れて巻尺で距離を測り、縮小した太陽と水星の大きさ・その距離を感じてもらいました。子どもたちからは毎回同じように

「すげー小せー！」

「水星、遠すぎ、見えな！」

等など歓声が出ました(笑)これを聞きたくてやっている面も有りますが・・・(笑)そのほかの惑星も、会場からの距離を地図上に落として紹介して下さるから、ほかの惑星模型を持ってお手伝いしてくれた児童たちは何百mも走らされるのではないかと不安そうでした(笑)



⑨終わりの会

子供たちから学習会の感想を聞き閉会となりました。

のつはる少年自然の家「星空散歩」

2018年2月10日(土)のつはる少年自然の家「星空散歩」が「カノープス(南極老人星)を見よう」と言う副題で開催されました。毎年恒例の「星空散歩:冬編」です。

参加者16名でした。厳寒の頃ですが40数名の参加申し込みがあるようで楽しみにしていましたが、当日の天候が曇天から雨または雪の模様となりキャンセルが多かったようで残念でした。しかしその反面、そんな天候の中でも16名の親子が山の中まで参加してくれたのには驚きました!結果的には雲に阻まれカノープスは見れませんでした、奇跡的に短時間晴れてくれて冬の星座の観察は出来ました。また、凄い天文少年にも出会え(最後の方に書いてます)とても楽しかったです。事務局Fが担当いたしました。

- ・ 17:30到着
- ・ 17:30~18:30 準備
 - 惑星(川端氏・太田氏 協力)・彗星・星座・星雲などのミニミニ天体写真展を設営
 - PP(パワーポイント)設営
 - その他曇天時対策の以下のオリジナル用品準備設営
 - ・ 惑星の距離を感じよう。
 - ・ 月の満ち欠けを体感しよう。
 - ・ 星座は回るor地球が回る。
 - ・ 月と地球の距離を感じよう。
 - ・ オリオンはさそりから逃げてるの?
 - ・ 隕石に触ろう。

- ・ 19:30~20:00 天文講座(2)

天気が良ければカノープスを見に屋上に上がるのですが曇天・霧が晴れないので、職員の方に見張りをしてもらいながらその間、第2部を行いました。何をお話ししようかなー?と悩みましたが、カノープスのタイムラプス動画が受けましたのでこれまで撮り貯めたタイムラプス動画を紹介しながらそれぞれのテーマの天文現象などを解説しました。拙い解説より動きのあるものの方が面白いからね!・(笑)「基本固定撮影の星空の動きのタイムラプス動画の撮影は、カメラと三脚が有ったらできますよ、カメラそんなに高いものでなくても良いですよ!」と、実際の機材で紹介いたしました、関心を持った親御さんもいましたから是非やってみてください!!!!



- ・ 18:30 開会式あいさつなど

- ・ 20:00~20:30 星座観察・望遠鏡見学

動画を見ていたら、職員の方から連絡が!
「天頂付近から晴れてきました、星が見えます!」
皆さんで防寒着を着込み駆け足で駐車場に出て見ると濃い霧も無くなり、冬のダイヤモンドをはじめ綺麗な星々が見えてるじゃ無いですか!!!\("o")/目が慣れるのも待てず、早々に冬の星座などの解説開始。直前まで星座解説をしましたからタイミングも良かったです。冬の星座・大三角の3つの1等星・ダイヤモンドの6つの1等星を説明していくうちに、次から次に雲が湧き流れてきて隠れていきます。
「次はここにシリウスが・・・」と話していたら隠れたり
「それでは先にプロキオンを・・・」と話していたらシリウスが見えたり、とかの、バタバタではありましたが何とか、冬の星座に関する紹介が出来ました。その後急速に雲が増えてきたのでぎりぎりセーフ!!!!屋内にもどり、天体観測ドームに上がって望遠鏡の見学・紹介と雲間からすばるを望遠鏡で覗いてもらったようです。



- ・ 20:30~21:00

多目的室に戻り、職員の方が星座早見盤と自然の家で撮影したカノープスの写真をプレゼントされました。会場の後ろに掲示したミニミニ天体写真展は随時見学してもらい、皆さんの質問などを受けて歓談いたしました。
5歳の天文少年君が居て、「これが流星の放射点ですか?」との質問に驚き、「きみこの漢字読めるの?」お母様が「この子、佐賀の宇宙科学館に連れて行ったらハマってしまい宇宙に関する事なら覚えてしまうんですよ、将来は宇宙飛行士に成りたいんだそうです」と、嬉しそうに教えてくれました。科学館のない大分県、わざわざ他県までに行かなければこのような体験が出来ないなんて何て不幸でしょうか!!!短い時間でしたが、この子とは「銀河系中心のブラックホール」の話で盛り上がりました…念のため、5歳ですよ!!!!(笑)
このような内容で進めた今回の天文教室でした。次回も呼ばれば頑張りたいですが、晴れてくれることを願うばかりです。

- ・ 18:45~19:25 天文講座(1)

今回のメインテーマは「カノープスを見よう」ですのでまずは事前に少しお勉強を!
カノープスの明るさや距離の説明
(宇宙の広さや光速についても解説)
りゅうこつ座についてアルゴ船座からの成り立ちの説明
見れたら長生きするというカノープスの伝説のお話
カノープスの見方・探し方
大分での高度・北限は?
カノープスの画像・動画の紹介
(事前に自然家近くで撮影した画像とタイムラプス動画を紹介いたしました)
冬の星座の説明
冬の星座・大三角・ダイヤモンドなどの説明



☆☆ 「2018.03.01安元観測所急襲」：山本☆☆

大分天文協会会員の安元さんの自作観測所です。ご実家の庭に完全自作で作られた木造スライディンググループ式観測所です、ログハウスなど木が大好きだそうで外観などもそのイメージですね！

大分天文協会には自作の観測所をお持ちの方が多くいますが、木造スライディンググループ式は、開拓的のO田さんの自宅観測所、第二の青春真っ盛りのA立さんの臼杵に似合った木造観測所、そして、ログハウス調の安元観測所などがあります。いずれも皆さん、自作でそれぞれに独自の工夫がされ愛情たっぷりです！！皆さん、一國一城の城主様のご立派ですね！パチパチ！

2018.03.01、県北・宇佐市での仕事の帰りに豊後高田の安元さんの観測所を急襲しました！・(笑)安元さん、お邪魔しました！！



写真(1)安元観測所安元さん

手作りの工夫満載の観測室に陣取る城主の安元さん、大好きな機材などに囲まれて幸せそうですね。当初の三脚仕様からD橋さんから譲られたピラー脚に代わって使いやすくなったようです。機密上公開できませんが、周囲にはカメラ屋望遠鏡やPCや天文書などがびっしりと囲んでます。羨ましい！！！！



写真(2)外観

スライディンググループを開けて主砲が月を狙っています。屋根の高さが歩道の高さに近いので、歩いている人が居たらちょっとびっくりかも？・(笑)
夜間はほとんど人通りは無いそうですから心配ないかもね！



写真(3)外観(入り口側)



写真(4)ギャラリー案内

観測所の横の天体写真ギャラリーへの案内看板です。自宅にこんな看板ある家知りません・(笑)



写真(5)屋外天体写真ギャラリー

ご自宅の道路沿いの軒下には安元さん撮影の天体写真が展示されています。ギャラリーには椅子もあり、ご近所さんたちが散歩の途中に休憩がてら見学していくそうですし、近くの小学校からも授業の一環としても来られるそうで、地域に大いに貢献されてます！写真は随時更新されているそうです。



天文機材作成報告

大型フィルターボックス（完成形）製作

大型のフィルターボックス製作中。
ストーン調仕上げで、念のため内側には植毛紙。
最大3枚装着出来るツメも。

川端



事務局コメント

これはお得意の3Dプリンター製です。
超広角レンズなど、フィルター取付ねじがついていないレンズにガラス又は樹脂製のフィルターをレンズフードに取り付ける部品です。山本も注文してちょうど出来上がりましたからこの写真はそれかな？アクリル板にラッカー吹き付けてソフトフィルターを作りテストする予定です。結果はまた報告します。

自動導入ユニットを基盤が修理不能のLX200に組み込み中(^_^)

当時画期的だったLX200シリーズも、国内サポートは芳しくありません。オリジナルのコントローラーを組み込んでます。パネル部分のレイアウトはこんな感じです。

川端



事務局コメント

電子化・電動化された望遠鏡の寿命は短くなりましたね！大昔は、望遠鏡は高額ですが、反面、システムはシンプルで何十年も使えるものでしたが、今は高精度の代わりに電子部品や電気系が故障しやすく(特に中国製?)尚且つその修理が意外と困難な場合が多く、光学系は使えるのに架台が動かない、しかも代理店がすでに無く修理が大変などなどのトラブルが散見されます。

ミードの大ヒット商品LX200も同様のようで、動かなくなった自動導入ユニットをごっそり作り替えたようですね、凄いな！！！！

天文工作報告

MT160での撮影はコントラストが低いなあ、と悩んでいましたので、2/18に鏡筒内に植毛紙を貼りつけてみました。鏡筒内相当暗くなりました♪

MT160は開口部が大きく、庭撮りでは鏡筒内に迷入光が多く入るのだろう、と思い、これまでは巻き付けフード内にフェルトを貼りつけたもので対策をしていました。それでもずいぶんコントラストは改善しましたが、それで改善するというはやはり迷入光の影響が大きいに違いない、と思い植毛紙を貼ることにしました。内部のつや消し塗装だって、もう30年近く前のものですし・・・。

購入したのは国際光器のものです。アドレスは↓こちら。

<http://kokusai-kohki.shop-pro.jp/?pid=124297433>

鏡筒内全面に貼ってやろう！と思い主鏡セルを外して斜鏡をのぞきこんだら、かなり光軸がずれていることがわかりましたので、一石二鳥で光軸調整も行うことにしました。

まず主鏡セル側は広くフラットな鏡筒内なのでそこから植毛紙を貼ってゆきました。その途中の画像と貼り終えたところの画像です。



植毛紙を貼っていないところは、つや消し塗装とはいえかなり光を反射・散乱させていることがわかります。さらに驚いたのはドローチューブの内筒はつや消しなのに、外筒は銀色のびかびか。開口部に近い場所なので結構街灯の光の影響を受けやすい場所ですから、そこにも植毛紙を貼ってみました。

そうやって鏡筒内がだんだん暗くなっていったらようやくわかってきたことは、鏡筒の接眼部の穴があいているところの反対側、つまり接眼部からのぞいて斜鏡の向こう側の壁、そこの反射がかなり影響が大きいこと、斜鏡ユニットの乱反射の影響も大きいこと、でした。



M57の撮影データ

Takahashi MT160(D160f1000)

Canon EOS 70D(IR) (ISO1600 20秒×188Fr≒63分)

Takahashi EM200(AGS-1L) ノータッチ ちょっと手動ダイヤ

2018.02/27 自宅庭より

DSS 3xDrizzle (Dark30 Bias80 Flat22 DarkFlat30)

PSCS2 NeatImage S18

対策後のM57画像です。何となく赤っぽく黄色っぽくになってしまう理由がわかりません。まだまだこの対策が良い結果を生んだ！と報告するのは時期尚早でしょうか？

どれくらい暗くなったか興味がありますので、対策前の40秒露光の画像と対策後の60秒露光の画像を添付します。月明かりと撮影場所は同じ条件で撮影しています。



EOS Kiss X7i (lr) ISO1600 40秒



EOS 70D(lr) ISO1600 60秒

背景の空の明るさの違いが、迷入光対策の効果です。これだけ背景が暗くなる、ということは、それだけ暗い空で撮影した効果、につながりますよね。庭撮りであちこちから光が鏡筒内に差し込むときにはかなり有効な方法っほいです

事務局コメント

川端さんに引き続き、藤吉さんから、天文機材作成の報告が届きました。藤吉さんは・・・反射望遠鏡鏡筒内の迷入光対策！レンズや反射鏡の精度も大切ですが、光軸も大切、そして、鏡筒内の迷入光対策(乱反射)もとても大切です！植毛紙なるものが出てくる前は、つや消し塗料やそれらに墨などを粉碎して混ぜて、艶のないざらざらした塗膜面に仕上げたものです、この辺を知ってる方はかなりのベテランかな？(笑)

迷入光対策は、屈折ですと絞り環も有効ですがニュートン反射では植毛紙に頼ることになります。ドローチューブ内に絞り環付けた猛者も居ましたね・・・懐かしい！

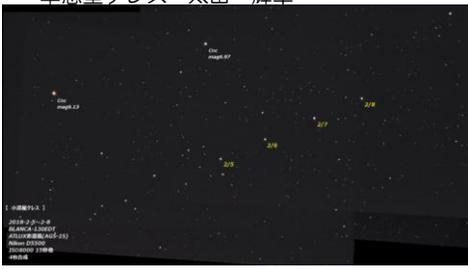
対策前後の写真で、その効果の断片が良く分かりますね、特に、筒先方向に、街灯などの灯りが有りがちな庭撮りに皆様には大型フードと共に必須アイテムかもしれませんね。

今後の、更にシャープな画像が楽しみです！

報告画像ギャラリー1

2018.02/05

準惑星ケレス 太田 輝章



2018.02/05

NGC2903 太田 輝章



2018.02/07

9cm屈折でのM51 藤吉 健児



23:31 自宅庭

Takahashi SKY90 D90f407(RD)/ZWO ASI178MM-cool/Takahashi EM200(AGS-1L)/Takahashi FC60(D60f500)+PHD2 オートガイド/FirecaptureV2.5 Gain250 Gamma50 Exp60sec SensorTemp -10°C L:76Fr RGB:各15Fr(2x2binning)/DSS,Si8,PSCS2,NeatImage

2018.02/09

今朝がたのM101 藤吉 健児



00:05 自宅庭

Takahashi SKY90 (D90f407RD)/ZWO FEWmini/ZWO ASI178MM-Cool SensorTemp -15°C/Takahashi EM200(AGS-1L)/Takahashi FC60 + ASI290MC + PHD2 オートガイド/FireCaptureV2.5 Gain350Gamma50Exp.60sec L:92Fr (Dark:30,Flat80)/RGB:Each 14Fr(Dark:33,Flat:Each70)/DSS, PSCS2,Si8,NeatImage,FlatAide

2018.02/13

香りの森、四辻峠のカノープス 奈須 栄一



2018.02/13

M63 藤吉 健児



自宅庭より

Takahashi MT160(D160f1000)/ASI178MM-cooled/Takahashi EM200(AGS-1L)+FC60(D60f500)+ASI290MC/PHD2 オートガイド/FireCaputureV2.5 Gain350 Gamma50 Temp. -15°C Exp60Sec/L:60Fr RGB:Each14Fr(2x2Bin)/DSS,SI,PSCS2,NeatImage

M63の撮影履歴

画像1: 20120512 FC60(f500)で、JPEG2コマのコンポジット
画像2: 20130118 SKY90(f407)で、JPEG16コマのコンポジット
画像3: 20150301 MC127L(D1500)で、JPEG6コマのコンポジット
画像4: 20160208 MT160で、RAW、DSSスタック、2xDrizzleで1440mm相当



2018.02/16

M51 藤吉 健児



自宅庭より

Takahashi MT160(D160f1000)/ASI178MM-cool/FireCaputureV2.5 Gain400Gamma50Exp60sec -15°C/TakahashiEM200(AGS-1L) FC60+ASI290MC+PHD2/L47D35 DSS PSCS2 Si8 Registax NeatImageそこに02/07のSKY90で撮影した、R,G,B,Hαを使って、L-RGBとL-Hα GB合成を行い、その両者をコンポジット

2018.02/17

M41 太田 輝章



2018.02/17

M48 太田 輝章



2018.02/17

木星 太田 輝章



2018.02/18

未明のガクルックス 奈須 栄一

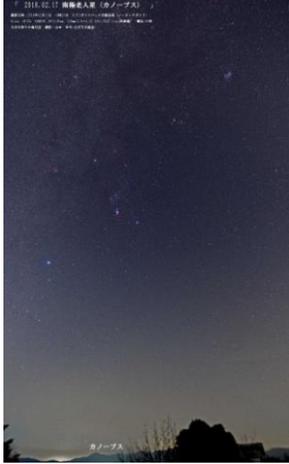


牧ノ戸峠下展望台

報告画像ギャラリー-2

2018.02.17

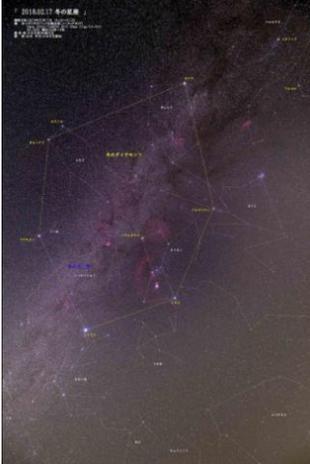
南極老人星(カノーブス) 山本 幸司



撮影日時: 2018年02月17日 19時23分
機材: GP2ガイドバック自動追尾(ノータッチガイド)
Nikon D810A
TAMRON SP15-30mm (15mm/2.8-3.2)
ISO: 1600 (Jpg1枚画像) 露出120秒
撮影地: 大分市香りの森付近

2018.02.17

冬の星座 山本 幸司



撮影日時: 2018年02月17日 19:45~21:29
機材: GP2ガイドバック自動追尾(ノータッチガイド)
Nikon D810A
TAMRON SP15-30mm (15mm/2.8-4.0)
ISO: 3200 露出180秒×8枚
撮影地: 大分市香りの森付近

2018.02.18

火星 川端 孝幸



2018-02-18 06h08m15s (JTS)
22cmNewtonian+Or18mm+IRcut+ADC+ASI224MC

2018.02/18

おとめ座の棒渦巻銀河M58 藤吉 健児



TakahashiMT160(D160f1000)
ZWO ASI178MM-cool
FireCaptureV2.5 Gain400Gamma50Exp60sec -15°C
L66 R10G11B9 (オートガイドのエラーがずいぶん出ました)
Takahashi EM200(AGS-1L) TakahashiFC60(D60f500)
ASI290MC PHD2 DSS PSCS2 S18 Registax6 NeatImage
2018.02/18 自宅庭より

2018.02/23

天の川 奈須 栄一



2018.02/23

流星 奈須 栄一



2018.02/23

腐敗の沼北側 瀧 辰夫



21時07分、
25cmF4中国製プラスチック?鏡筒、
5倍ハローレンズ→中国製ではない。
、ADC、
赤外カットフィルター、asi224mc、
FireCapture.AutoStakkert.Registax
25s 6ms.約600フレーム

2018.02/24

木星 瀧 辰夫



6時30分~ 撮影2分
25cmF4中国製プラスチック?鏡筒、
5倍ハローレンズ→中国製ではない。
、ADC、
赤外カットフィルター、asi224mc、
FireCapture.AutoStakkert.Registax
15ms,1600frames

2018.02/24

デジカメとCCDの比較 瀧 辰夫



CCDでコンボジットしたものの方が明らかに細かい部分まで表現できています。
しかし面倒なのでそこまで追求していないので、私的にはデジカメで全体像一発撮りの方が好みます。

報告画像ギャラリー-3

2018.02.26
川端 孝幸



2018.02/27
火星 川端 孝幸



2018-02-27 06h15m28s (JTS)
共通: C14+2×バーロー+IRcut+ADC+ASI224MC

2018.02/27
アリストアルコス付近1 川端 孝幸



C14+IR76+ASI224MC (20h55m44s JST)

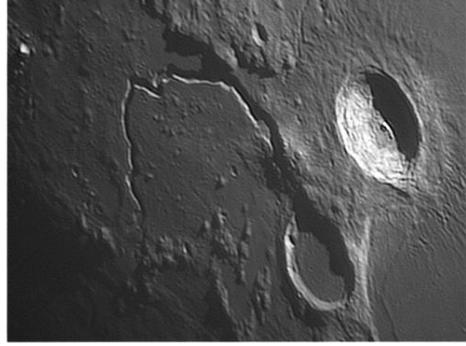


2018.02/27
ガッサンディ付近1 川端 孝幸



C14+IR76+ASI224MC (21h11m48s JST)

2018.02/27
アリストアルコス付近2 川端 孝幸



C14+2×+IR76+ASI224MC (22h25m42s JST)



C14+IR76+ASI224MC

2018.02/27
ガッサンディ付近2 川端 孝幸



C14+2×+IR76+ASI224MC (22h28m35s JST)

2018.02/27
マリウスとアリストアルコス 藤吉 健児



2018.02/27
木星 川端 孝幸



2018-02-27 05h21m30s (JTS)
C14+2×バーロー+IRcut+ADC+ASI224MC

2018.03/04
金星と水星の接近 山本 幸司



日時: 2018.03.04 18:28
撮影地: 大分市牧
機材: FUJIFILM X-T1/XF18-55mmF2.8-4 (f=55.0 F=4.0)
ISO 320 1/60sec 固定撮影
PhotoshopCS2にて画質処理
撮影: 山本 幸司(大分天文協会)



Celestron Edge HD800 + Vixen 2xBarlow
ZWO ASI290MC
FireCaptureSC Gain330 Gamma50 Exp3.1msec X 各2000Fr
ASI3(40%) Registax6 CS2
2018.02/27自宅庭
マリウス丘とリンクルリッジ 2コマモザイク 22:57
アリストアルコス高地 2コマモザイク 22:53

報告画像ギャラリー4

2018.02/27

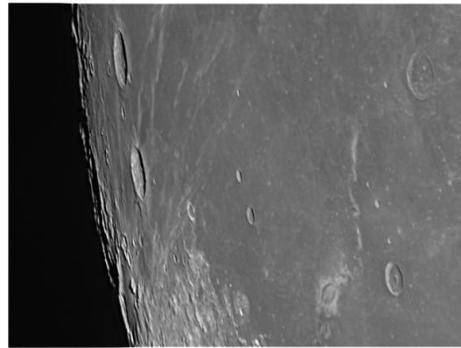
虹の入江 露の入江 藤吉 健児



Celestron Edge HD800 + Vixen 2xBarlow
ZWO ASI290MC
FireCaptureSC Gain330 Gamma50 Exp3.1msec X 各2000Fr
ASI3(40%) Registax6 CS2
2018.02/27 自宅庭
虹の入江とジュラ山脈 2コマモザイク 23:03
露の入江とサウス Jハーシェル 2コマモザイク 23:07

2018.03/01

クラフトとカルダヌスを結ぶ連鎖クラフト
川端 孝幸



C14+IR76+ASI224MC

2018.03/06

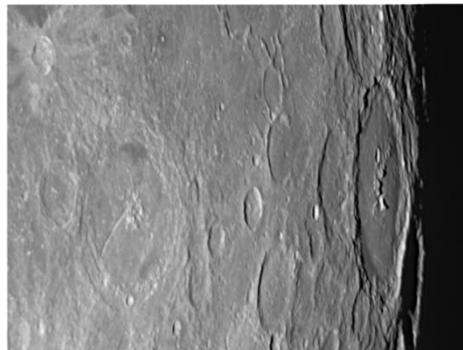
NGC2346 藤吉 健児



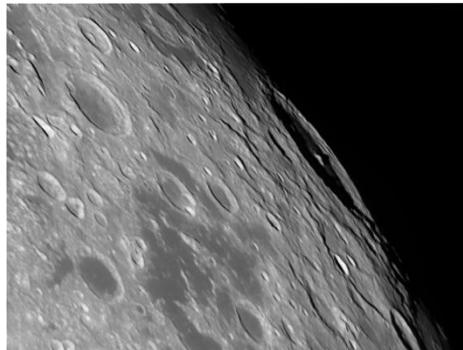
22:22JST 自宅庭
Takahashi MT160(D160f1000)
ZWO ASI178MM-cool
FireCaptureV2.5 Gain400Gamma50Exp15secTemp-15°C
L:317Fr≒80min RGB Each24Fr(≒6min) 2x2bin
Takahashi EM200(AGS-1L) ノータッチ 手動ディザ
DSS PSCS2 Si8 NeatImage トリミングあり

2018.03/02

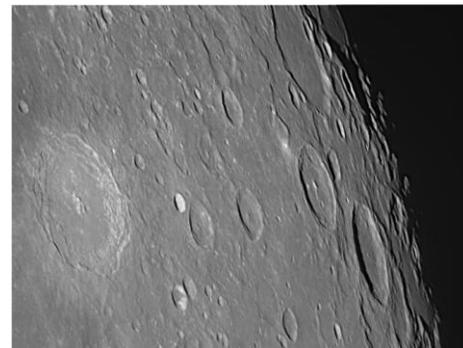
満月の縁(ヘリ)探訪 川端 孝幸



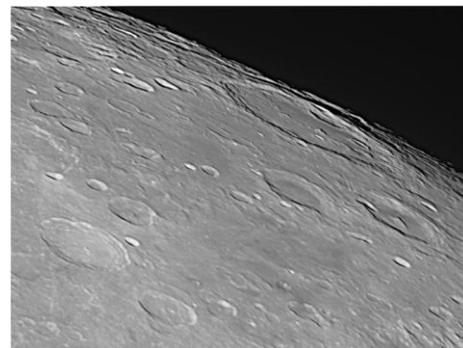
ベタビウスからフンボルト周辺
C14+IR76+ASI224MC (2018-03-02)



波の海からネーピア。中央峰が際立っています。
C14+IR76+ASI224MC (2018-03-02 22h49m52s JST)



ラングレヌスからラ・ペイルーズ、アンガリウス付近
月の秤動で奥まで見えてる。
C14+IR76+ASI224MC (2018-03-02 23h13m10s JST)



ゲミヌス、ベルヌーイ、ペロツソス、ハーン、ガウス
C14+IR76+ASI224MC (2018-03-02 23h27m10s JST)

2018.03/03

木星 澁 辰夫



3月3日4時37分~2分間、シャッター10ms
25cmF4,asi224mc.5倍パロー
オートスタッカー、レジスタックス、最大エントロピー

2018.03/03

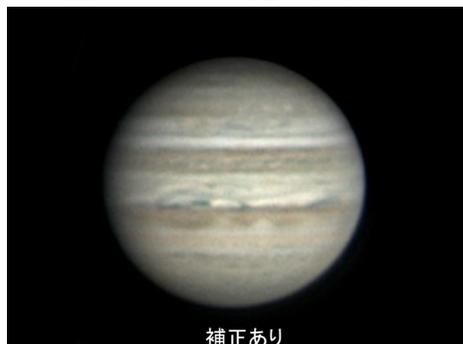
木星 川端 孝幸



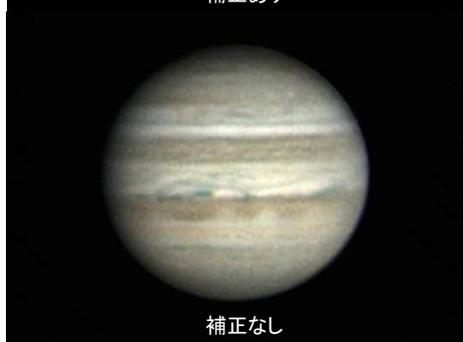
06h07m38s(JTS) 8868frame×35%
C14+2×ノーパーロー+IRcut+ADC+ASI224MC

2018.03/03

木星のWinJUPOS処理 澁 辰夫



補正あり



補正なし